

2-3 高潮ハザードマップ

1 高潮ハザードマップとは

高潮ハザードマップは、最大規模の高潮による浸水予測区域を示したマップです。兵庫県が実施したシミュレーションの結果に基づいて作成しています。

日本に来る台風の多くは、熱帯地方の海上で発生し、勢力を拡大してきます。近年、地球温暖化等の影響によって海水温が上昇することで、台風が巨大化し、高潮による被害が甚大化する可能性があります。

「もしも高潮が発生したら…」を想定し、どの程度の被害となるのか、発生しそうな時に何をすればよいのか、日頃から何に気を付けて備えておくべきなのかについて考えてみてください。

高潮浸水予測区域について

- 高潮浸水予測区域は、伊勢湾台風(昭和34年)や第二室戸台風(昭和36年)などの台風を想定し、色々なコースを通過させ、最も大きな被害となるシミュレーション結果を示したものです。なお、第二室戸台風は、市の沿岸部で既往最高潮位を記録しています。
- 地図に示した区域以外の場所でも、状況によって高潮による浸水が発生する場合があります。



高潮時の海洋文化センターの様子

2 高潮発生のメカニズムと注意する場所

高潮は、「吸い上げ」や「吹き寄せ」という現象により、海水が堤防や防潮堤を越えたり、破壊して発生する浸水です。

これらの現象が満潮時と重なると、より一層被害は大きくなります。

① 吸い上げとは

台風など低気圧が接近すると、空気が海面を押さえつける力が弱くなり海面が持ち上げられること

② 吹き寄せとは

海上から海岸に向かって風が吹き続けることで、海面が高くなること(風が長く吹き続けるほど海面は高くなります)



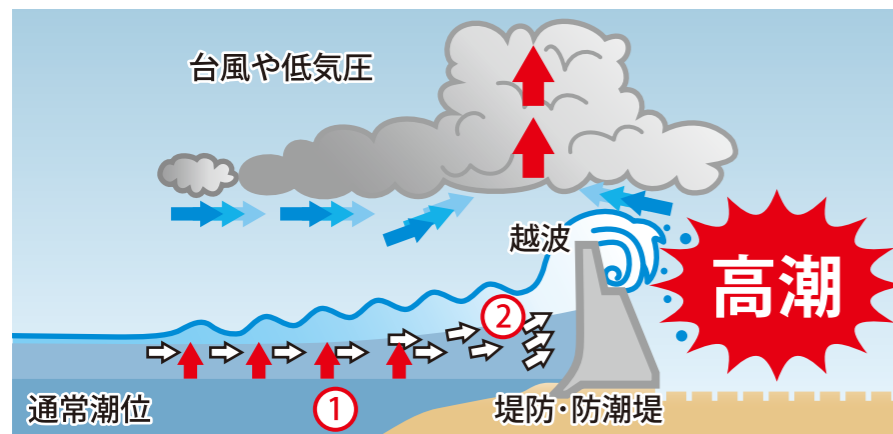
河川沿い

高潮は河川を遡ります。そのため、海から離れた場所でも河川を遡ってきた高潮によりはん濫する可能性があります。台風襲来時には、大雨で河川の水位も増大しており、大変危険です。



港内

港内では波が反射を繰り返し、共振現象(波の山と山が重なる現象)を起こして波が大きくなる場合があります。



3 高潮ハザードマップ

高潮浸水予測区域:兵庫県が平成17年に調査した高潮浸水予測区域に基づいて作成

